

2026年4月

グラフで見る和歌山県経済指標

和歌山県経済には弱さが見られる

内閣府の月例経済報告（2026年4月23日公表）において、「景気は、緩やかに回復しているが、中東情勢の影響を注視する必要がある」との表現が維持された。

個別項目では、「設備投資」、「公共投資」で基調判断が引き上げられた。

以下では、「全国の情勢」、「和歌山県の情勢」を主要経済指標（主に3月の値）に基づき報告する。

全国の情勢

① **需要動向**に関して、「設備投資」「公共投資」に関する判断がそれぞれ引き上げられた。「輸出」「輸入」「住宅建設」に関する判断は維持された。「個人消費」は「持ち直しの動きがみられる。ただし、消費者マインドがこのところ弱い動きとなっていることに注意が必要である」との表現に変更となっている。

② **企業活動**に関して、「生産」「倒産件数」「企業収益」に関する判断が維持された。「業況判断」に関しては、「おおむね横ばいとなっている。ただし、先行きについてはやや慎重な見方となっており、中東情勢の影響を注視する必要がある」との表現に変更となった。

③ **雇用情勢**に関しては、「改善の動きがみられる」との判断が維持された。

④ **物価**に関して、「国内企業物価」、「消費者物価」についての判断が維持された。

⑤ **世界経済**に関しては、「世界の景気は、一部の地域において弱さがみられるものの、緩やかな持ち直しが続いている。ただし、中東情勢を始め世界経済の不透明感が高まっている」との表現が維持された。

和歌山県の情勢

① **個人消費面**では、**百貨店・スーパー販売額（3月）**は、前年同月比0.6%減となり、4か月連続で前年を下回った。業態別では、近鉄百貨店和歌山店の販売額（3月）が前年同月比2.4%増となっており、2か月ぶりに前年を上回った。

新車販売台数（軽自動車〔乗用〕含む、3月）は、前年同月比17.0%減となり、9か月連続で前年を下回っている。全国の新車販売台数（3月）は、前年同月比3.1%減となっており、和歌山県と比較して減少幅は小さい。

新設住宅着工戸数（3月）は、前年同月比6.5%減となり、2か月ぶりに前年を下回った。住宅種別では、「持家」では前年同月比13.3%の減少となった。一方で、「貸家」は前年同月比9.7%の増加となった。

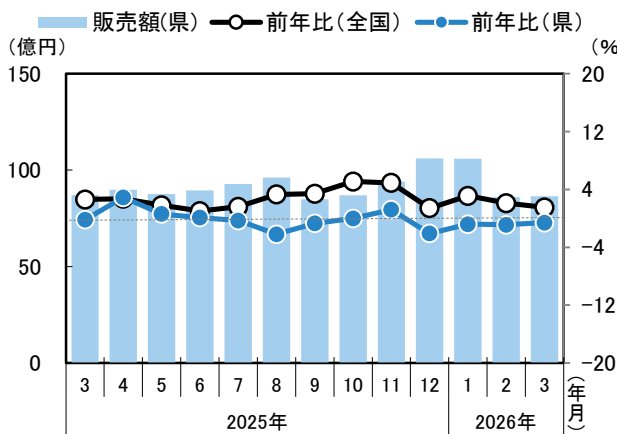
② **企業活動面**では、**鉱工業生産指数（2月）**は、前月比2.0ポイントの下降となった。1月に2.5ポイント上昇した鉱工業生産指数だが、再び下降し、低い水準にある。主力業種では、「金属製品工業」、「生産用機械工業」などで生産指数が低水準にある。

公共工事請負金額（3月）は、前年同月比30.9%減となっている（減少は3か月連続）。前年4月～3月（2025年度）累計での請負金額も前年同期比4.1%減となっており、5年連続で減少している。一方で、内閣府「月例経済報告」によると、国内の公共投資は「堅調に推移」しており、全国における3月の公共工事請負金額は、前年同月比0.9%増となっている。

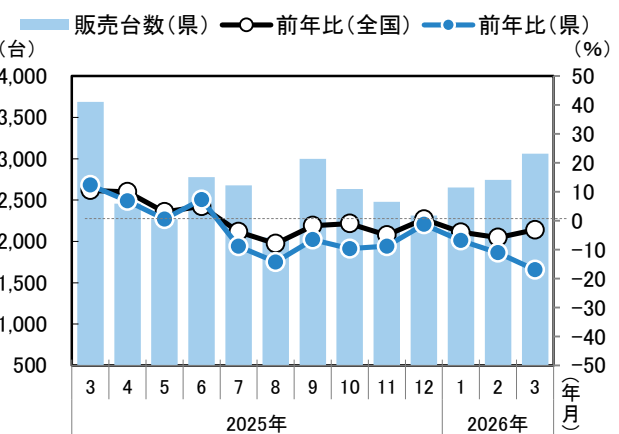
帝国データバンクが発表している「**県内 TDB 景気 DI (3月)**」は、前月から 1.1 ポイント下降した（下降は 2 か月ぶり）。2 か月ぶりに 40 ポイント台を下回り、全国の値に比べると依然低い水準にある。製造業の景気 DI が 3.2 ポイント下降した。帝国データバンクは「ホルムズ海峡の事実上の封鎖の影響は、（中略）和歌山の強みの産業である石油化学基礎原料を活用する化学品関連業、アパレル関連業（繊維製品加工業）、海南市に集積する日用品雑貨関連業に特に影響を与えそうだ」としている。

③ 雇用面については、「**有効求人倍率 (3月)**」は、前月から横ばいで推移し、1.01 倍となった。この値は、約 5 年ぶりの低水準となっている。このような状況の要因としては、前年 11 月に、最低賃金が 65 円引き上げられ、事業者の人件費負担が増加しており、求人控えが起きている可能性が挙げられる。宿泊業、製造業を中心に幅広い業種で、新規求人数が減少傾向にあり、今後の県内雇用情勢については、これまで以上に注視する必要がある。

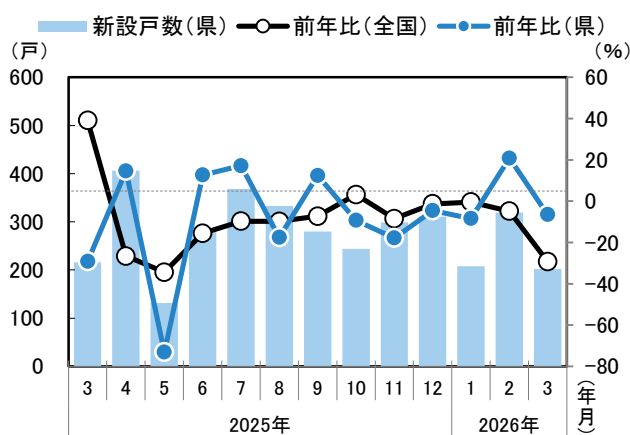
百貨店・スーパー販売額



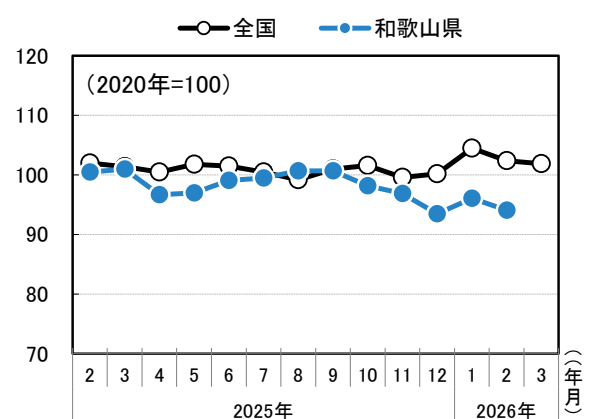
新車(登録車+軽自動車)販売台数

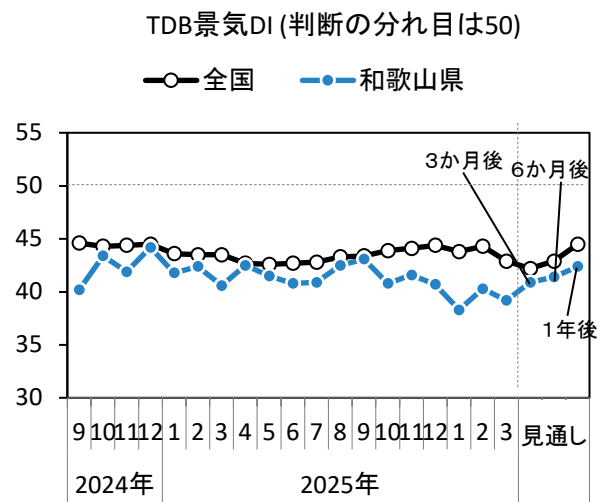
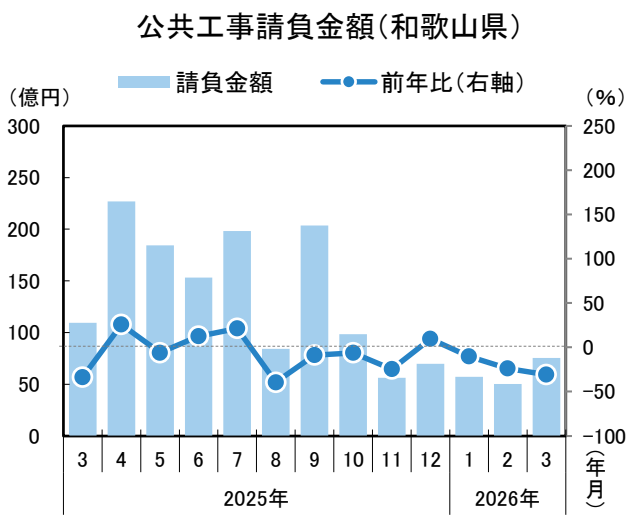
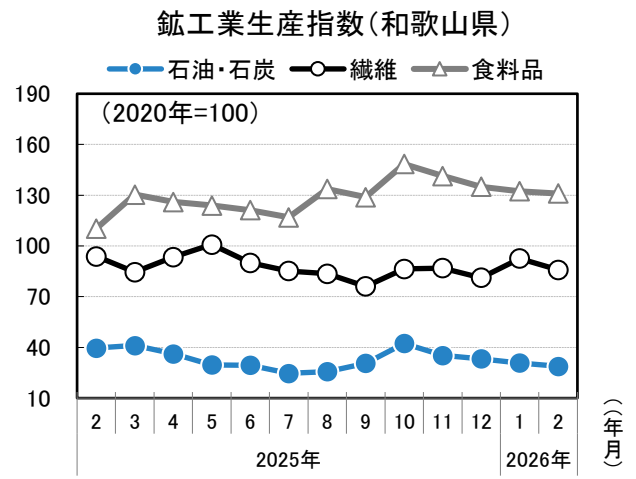
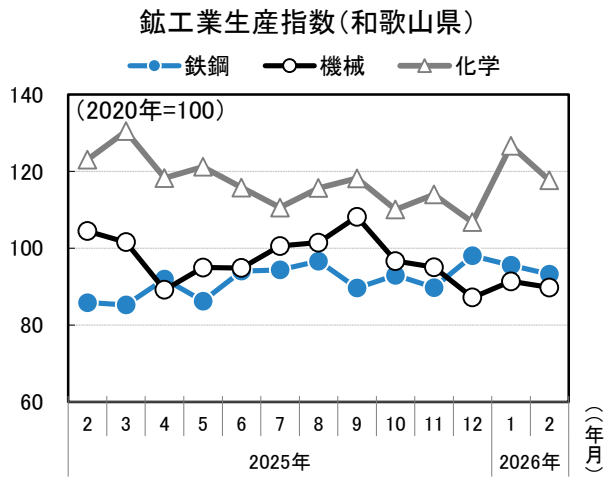


新設住宅着工戸数

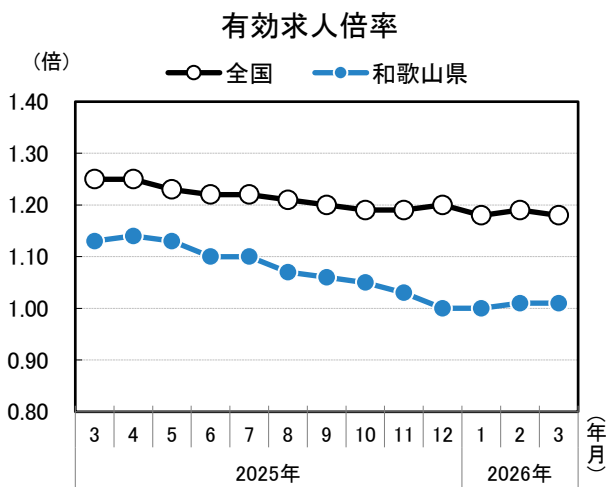


鉱工業生産指数





(資料)株式会社帝国データバンク



(1)個人消費面

	百貨店・スーパー販売額			新車販売台数(*登録+軽)			新設住宅着工戸数		
	販売額 (億円)	全国 (前年比)	和歌山県 (前年比)	販売台数 (台)	全国 (前年比)	和歌山県 (前年比)	着工戸数 (戸)	全国 (前年比)	和歌山県 (前年比)
2020年	1,133	-5.4	-5.4	33,942	-11.6	-12.4	4,514	-9.9	-13.0
2021年	1,093	0.9	-3.7	32,416	-3.3	-4.5	4,591	5.0	1.7
2022年	1,090	3.8	-0.3	30,549	-7.0	-5.8	4,758	0.4	3.6
2023年	1,106	4.6	1.5	20,583	18.4	19.0	3,958	-4.6	-16.8
2024年	1,107	3.6	0.1	19,231	-5.6	-6.6	3,800	-3.3	-4.0
2025年2月	86.8	1.7	0.1	3,087	18.7	20.3	264	2.4	28.8
3月	87.0	2.6	-0.2	3,687	10.5	12.3	216	39.1	-29.2
4月	89.7	2.7	2.9	2,458	10.0	6.8	406	-26.6	14.7
5月	87.6	1.8	0.6	2,269	3.1	0.6	131	-34.4	-73.2
6月	89.5	1.0	0.1	2,779	5.0	7.3	285	-15.6	12.6
7月	92.8	1.6	-0.3	2,679	-3.8	-8.9	368	-9.7	17.2
8月	96.1	3.3	-2.2	2,049	-7.9	-14.3	333	-9.8	-17.6
9月	84.9	3.4	-0.7	2,999	-1.7	-6.6	280	-7.3	12.4
10月	86.9	5.1	0.0	2,634	-1.0	-9.6	244	3.2	-9.3
11月	94.0	4.9	1.2	2,478	-5.0	-8.8	299	-8.5	-17.9
12月	106.1	1.4	-2.1	2,312	0.6	-1.3	311	-1.3	-4.6
2026年1月	105.8	3.1	-0.8	2,651	-3.9	-6.9	208	-0.4	-8.4
2月	86.0	2.1	-0.9	2,745	-5.8	-11.1	319	-4.9	20.8
3月	86.5	1.5	-0.6	3,062	-3.1	-17.0	202	-29.3	-6.5

(2026年5月1日に取得可能な資料より作成)

(2)企業活動面

	鉱工業生産指数(2020年=100)								公共工事請負額		TDB 景気DI
	全国	和歌山県	鉄鋼	機械	化学	石油石炭	繊維	食料品	請負金額 (億円)	和歌山県 (前年比)	
2020年	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.5	100.0	1,847.2	16.5	
2021年	105.4	97.6	93.8	97.0	97.0	87.7	96.3	118.0	1,806.3	-2.2	
2022年	105.3	103.8	100.2	106.6	101.8	122.2	100.0	120.3	1,584.1	-12.3	
2023年	103.9	97.9	93.0	97.9	104.7	102.7	99.8	117.1	1,711.6	8.0	
2024年	101.2	96.5	86.0	95.1	112.2	44.3	92.7	127.0	1,625.7	-5.0	
2025年2月	102.0	100.5	85.9	104.5	123.1	39.6	93.8	110.3	65.7	-8.1	42.4
3月	101.4	101.0	85.3	101.6	130.5	41.1	84.5	130.4	109.4	-33.6	40.6
4月	100.5	96.7	92.0	89.2	118.3	36.2	93.4	126.0	226.9	25.8	42.5
5月	101.8	97.0	86.3	95.0	121.2	29.7	100.8	123.9	184.3	-6.0	41.5
6月	101.5	99.1	94.1	94.9	115.8	29.5	90.0	121.2	153.1	12.6	40.8
7月	100.5	99.5	94.4	100.6	110.6	24.7	85.2	116.9	198.3	21.4	40.9
8月	99.2	100.7	96.7	101.5	115.7	25.7	83.6	133.7	84.4	-39.5	42.5
9月	101.0	100.7	89.7	108.2	118.2	30.6	76.1	128.8	203.7	-8.7	43.1
10月	101.6	98.2	93.0	96.7	110.1	42.4	86.4	148.4	98.4	-6.2	40.8
11月	99.6	96.9	89.8	95.1	114.0	35.3	86.9	141.3	56.3	-24.6	41.6
12月	100.2	93.5	98.1	87.2	106.8	33.3	81.2	135.0	69.9	9.6	40.7
2026年1月	104.5	96.1	95.6	91.4	126.7	30.8	92.6	132.3	57.3	-10.3	38.3
2月	102.4	94.1	93.3	89.8	117.7	28.8	85.8	131.0	50.1	-23.8	40.3
3月	101.9								75.5	-30.9	39.2

(注)鉱工業生産指数は季節調整値[ただし、年次値は除く]

(2026年5月1日に取得可能な資料より作成)

(3)雇用面

	有効求人倍率		有効 求人数 (人)	有効 求職者数 (人)	充足率	
	全国 (倍)	和歌山県 (倍)			パートタイム 除く(%)	パートタイム (%)
2020年	1.18	1.05	15,107	14,373	16.2	18.8
2021年	1.13	1.09	16,195	14,874	15.2	18.2
2022年	1.28	1.15	16,976	14,775	14.8	16.8
2023年	1.31	1.13	16,339	14,407	14.7	17.2
2024年	1.25	1.13	16,427	14,570	13.9	17.3
2025年2月	1.25	1.13	16,514	14,557	12.3	18.3
3月	1.25	1.13	16,364	14,465	18.4	22.5
4月	1.25	1.14	16,327	14,293	15.0	20.2
5月	1.23	1.13	16,324	14,412	12.0	20.9
6月	1.22	1.10	16,106	14,589	15.6	19.5
7月	1.22	1.10	16,037	14,572	12.3	19.2
8月	1.21	1.07	15,802	14,747	12.9	16.4
9月	1.20	1.06	15,683	14,747	12.8	18.0
10月	1.19	1.05	15,461	14,761	14.0	18.7
11月	1.19	1.03	15,357	14,960	10.8	18.3
12月	1.20	1.00	15,201	15,195	12.3	17.3
2026年1月	1.18	1.00	15,509	15,557	11.2	13.9
2月	1.19	1.01	15,372	15,215	12.5	20.2
3月	1.18	1.01	15,113	14,968	17.4	28.2

(2026年5月1日に取得可能な資料より作成)

(注1)有効求人倍率、有効求人数、有効求職者数は季節調整値[ただし、年次値は除く]

(注2)「充足率」とは、事業者が希望通りの人員数を確保できるかどうかを数値で表したものであり、数値が低いほど、人材の確保が難しい。